



奈多海岸

- 所在地／杵築市奈多海岸
- 規模／幅 0.05km、長さ 1.5km、面積 7ha、樹齢 100～300年
- 指定／防風保安林、風致保安林
- 問合せ／杵築市農林課林業係 電話 09786-62-3131（内線 158）

大分県



立地環境

大分県の北東部にある杵築市の北端部に位置する松林です。海岸線は、ゆるやかな弧を描くように続きます。

松原の 今昔物語

江戸時代初め、木付領主・小笠原忠知が奨励して植栽した松

国東半島の海岸沿いは、江戸時代初期まで荒地が続いていましたが、ときの木付藩の藩主・小笠原忠知は、伊予灘からの強い潮風を防ぐため松苗を日向から取り寄せ領内の海浜に植樹し、主としてイネを守るための防潮林の役目を持たせ、荒れた後背地に水田を開きました。また、農民に松を植えさせるため、1本につき大麦5升を植付料として支給し、植林を奨励したと伝えられています。

奈多海岸は、長く続く砂浜に緑豊かな松が繁り多くの市民や県民の憩いの場であり、「日本の白砂青松100選」にも選ばれています。

COLUMN

杵築市は別府湾に面した松平3万2千石の城下町。杵築城、茅葺屋根や優雅な庭園を残す家老屋敷の「大原邸」、「磯矢邸」や別名坂道の城下町とよばれるほど坂の多い町で、中でも石畳の残る「勘定場の坂」、「酢屋の坂」は江戸時代の面影を残し観光名所となっています。杵築城や一松邸から見る風景は絶景です。

ACCESS

●電車やバスの場合

大分空港から杵築方面バスで15分、「奈多八幡」下車。JR杵築駅からバスで30分。別府国際観光港からバスで60分

●車の場合

大分市より60分、中津市より60分
駐車場有り

